

令和4年10月31日(月)

太田市議会
議長 岩崎 喜久雄 様

公明クラブ代表 高橋えみ

第84回 全国都市問題会議 参加報告書

1、期 間

令和4年10月13日(木)～10月14日(金)までの2日間

2、会場及びテーマ

会 場 : 長崎県長崎市 出島メッセ長崎
テーマ : 個性を生かして「選ばれる」まちづくり
～何度も訪れたい場所になるために～

3、参加者

高橋えみ、星野一広、前田純也

4、会議日程

第1日 (10月13日)

開会式

開会挨拶	全国市長会会長	福島県相馬市長	立谷秀清
開催市市長挨拶		長崎県長崎市長	田上富久
来賓祝辞		長崎県知事	大石賢吾

基調講演

民間主導の地域創世の重要性

株式会社ジャパネットホールディングス代表取締役 CEO 高田旭人

主報告 長崎市の魅力ある街づくり

長崎県長崎市長 田上富久

一般報告 地域との新しい関わり方・関係人口

島根県立大学地域政策学部准教授 田中輝美

一般報告 ビジョンを生かしたまちづくり
～「選ばれる山形市」を目指して～

山形県山形市長 佐藤孝弘

一般報告 「交流の産業化」を支える景観まちづくり
～長崎市景観専門監の取り組み～
一般社団法人地域力創造デザインセンター代表理事

高尾忠志

第2日（10月14日）

パネルディスカッション

テーマ 個性を生かして「選ばれる」まちづくり
～何度も訪れたい場所になるために～

コーディネーター

東京都立大学法学部教授

大杉 寛

パネリスト

ゆとり研究所所長

野口智子

山梨大学生命環境学部教授

田中 敦

NPO法人長崎コンプラドール理事長

桐野耕一

岐阜県飛騨市長

都竹淳也

兵庫県伊丹市長

藤原保幸

閉会式

次期開催市市長挨拶 青森県八戸市長

熊谷雄一

閉会挨拶

公益財団法人後藤・安田記念東京都研究所理事長

小早川光郎

5、所感等

今年の第84回全国都市問題会議は、コロナ禍の影響で全国から集う会議としては、三年ぶりに長崎県長崎市の出島メッセ長崎を会場に開催されました。

第二次世界大戦では、原子爆弾を投下され多くの尊い命が奪われた地であり、現在でも被爆の苦しみを抱えながら生きている方も多く、平和の大切さを考えさせられる地にて開催された、今回の都市問題会議は、「個性を生かして『選ばれる』まちづくり～何度も訪れたい場所になるために～」をテーマとして、様々な角度から基調講演や一般報告、またパネルディスカッションが行われ、魅力のあるまちづくり、そして「もう一度訪れてみたい」と思ってもらうにはどのような取り組みが必要なのかなどを学び、とても有意義な会議となりました。

まず基調講演では、株式会社ジャパネットホールディングス代表取締役 CEO 高田旭人氏が、長崎市と連携しつつ、民間の活力を生かしサッカーなどのスポーツにも力を入れ、「また訪れてみたい」と思ってもらえる事業に取り組んでいることに感銘を受けました。このことは、太田市でも群馬クレインサンダースを核として、交流人口を増やすこと、「また太田に行ってみよう」と思っていたため今後のまちづくり大いに参考になると感じました。

また、

田上富久長崎市長の主報告では、「長崎市の魅力ある街づくり」と題して講演され、その中で長崎市のまちづくりについては、「景観の向上」というテーマを重点に、取り組んでいることが理解できました。

田上市長が市職員の時に、観光課に在籍していた経験を活かし、各部、各課との連携をできるだけスムーズに、そして市職員を中心とともに汗をかく、「協働」を行うことで、長崎の魅力づくりに挑戦し、そのことが街の魅力、職員の育成にもつながっているのではないかとのお話に、とても参考になるとともに、市役所などの行政機関のいわゆる「縦割りの行政」を脱却する参考になる事例である感じました。

また一般報告でも、「関係人口を増やそう」というテーマで、島根県立大学地域政策学部、田中輝美准教授の講演や、ビジョンを生かしたまちづくり～「選ばれる山形市」を目指して～と題しての、佐藤孝弘山形市長の話も興味深いものでした。

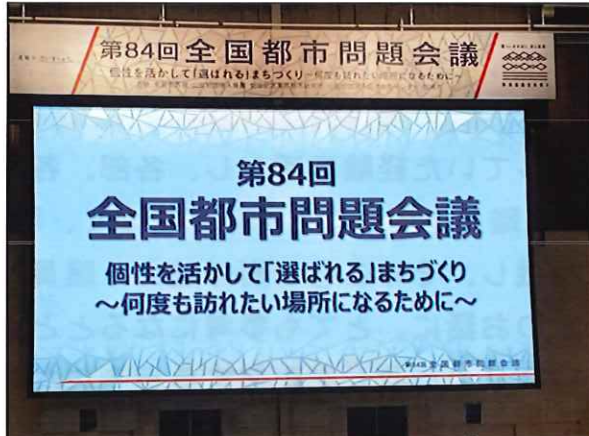
二日目のパネルディスカッションでは、「個性を生かして『選ばれる』まちづくり～何度も訪れたい場所になるために～」とのテーマで、大杉 覚東京都立大学法学部教授をコーディネーターに、5人のパネリストの皆さんがそれぞれの分野での、選ばれるまちづくりについて語り、二日間にわたる会議が終了しましたが、今回学んだことを太田市でどのように生かせるか、会派でも話し合い、考えていきたいと思えます。



会場となった出島メッセ長崎の全景



会場入り口にて



会場内の看板



鶴鳴学園長崎女子高等学校
龍踊部による演舞